



税の標語 税についての作文

次代を担う中学生に税への関心と理解を深めてもらうことを目的としているコンクール・募集で、国分寺市長賞及び国分寺市教育委員会教育長賞を受賞した生徒の表彰式を1月12日に市長応接室で行いました。

■「税の標語」入賞者

国分寺市長賞受賞

原田 和果さん(三中)
『幸せな暮らしへ一歩
税と知る』

■「税についての作文」入賞者

国分寺市長賞受賞

坂本 健太郎さん(三中)
『教科書の裏のメッセージ』

国分寺市教育委員会教育長賞受賞

碓 楓さん(二中)
『私が考える税金の使い道』



ふだんは意識しませんが、公園や一般の道路、交番、小学校などの施設を、無料または少額で利用することができるのは、税金のおかげです。また、私たちの病やけがを治すための医療費の七割は、税金で賄われます。このように、様々な面で私たちの暮らしを支える税金ですが、私が「実現されてほしい」と思う税金の使い道を考えました。一つ目は、環境問題対策の費用です。例えば、海に流れ出たプラスチックごみの大規模な回収作業や、再生可能エネルギーの施設の新設、それによって廃止されてしまう火力発電所の従業員への金銭的な援助などには、多くの費用がかかります。税金を使うことで、このような取り組みが増え、持続可能な社会への一歩となると思います。私は三年間鹿島に住んでいたことがあり、きれいな海に何度も遊びに行きましたが、これからは守っていきたく思うようになりました。そこで脱プラスチックの実行を試みましたが、とても難しく達成することができませんでした。この経験から、私は生分解性プラスチックの低コストな生産方法の開発や、プラスチック容器をスーパーなどで回収するデポジット制の導入に向けた、新たな設備の設置に税金を使って欲しいです。二つ目は、今後さらに需要が高まっていく職業の賃上げです。近年、保育士や幼稚園教諭が不足し、保育園や幼稚園に入園できない待機児童が増加しています。また、二〇二三年度の介護士の不足は約二十二万人と、高齢化が進む日本にとっては厳しい状況です。私も将来働きたいと思っているので、自分の仕事と、子育てや両親の介護を両立することは不可能だと思います。税金を使ってこれらの職業の賃金を上げること、新たな人材が集まり、すべての国民が平等にサービスを受けられるようになってほしいです。また、介護業界では、AIロボットの導入をさらに進めることによって、人材不足解消や仕事の効率化が可能になると思います。すでに現場で活用されている歩行補助ロボットなどに加えて、私は食事の用意や、入浴、着脱介助などの作業ができるロボットの開発・導入が進むのいいと思います。三つ目は、自殺対策です。私にとって最も身近に潜む自殺の原因は、学校生活におけるいじめです。私は、いじめは学校だけでなく、生徒の保護者や地域に住む方々も交えて解決していくべきだと思います。そのため、いじめが起きたら、地域全体にすぐに連絡が入るシステム開発、また、「つぎわネットワーク」のようないじめ報告サイトの充実による、いじめの早期発見・解決のために税金を使ってほしいと思います。

理想的な税金の使い道を考えることで、日本が抱える社会問題について、一部ですが理解を深めることができました。自分もいずれは納税者になる身として、日頃から税金の使い道に関心を持つことは、誰もが過ごしやすい社会をつくることにつながると思います。

国分寺市教育委員会教育長賞受賞作品
私が考える税金の使い道
二中 碓 楓

学校給食を味わおう 給食レシピ



ブルコギ丼 1人分 520kcal <<材料>> 4人分

米	375g	小松菜	25g
水	525g	にんじん	50g
豚肉	200g	たまねぎ	25g
しょうゆ	6g	りんご	25g
酒	5g	にんにく	5g
油	5g	しょうが	5g
春雨	25g	砂糖	5g
たまねぎ	100g	しょうゆ	25g
もやし	125g	みりん	10g
にら	25g	ごま油	5g

<<作り方>>

- ①米を炊いておく。湯を沸かし、春雨を戻しておく。
- ②豚肉にAで下味をつけておく。
- ③B(たまねぎ、りんご、にんにく、しょうが)をすりおろし、Cと混ぜ合わせ、タレを作っておく。
- ④たまねぎはくし形切り、にんじんはいちょう切り、小松菜・にらは3cmほどに切る。
- ⑤熱したフライパンに油をひき、②を炒める。
- ⑥豚肉に火が通ってきたら、④ともやしを加え、更に炒める。
- ⑦野菜がしんなりしてきたら、春雨と③を加え炒める。
- ⑧仕上げにごま油を加える。
- ⑨丼ぶりにごはんを盛り付けてブルコギを盛り付けて出来上がり。

この日の給食は、ブルコギ丼、うどん入りナムル、わかめスープ、ぶどうゼリー、牛乳でした♪



小学校給食のレシピはクックパッドにも掲載しています。ぜひご覧ください！

HP <https://cookpad.com/kitchen/16684637>

右の二次元コードからもアクセスできます。



問合せ 学務課 ☎ (042) 574-4042

民間施設を利用した学校水泳指導を 試行実施しました



令和5年6月から12月にかけて、民間施設(スポーツクラブ)を活用した水泳の学習を、第三小学校で試行実施しました。今までは、天気や気温等の状況で実施の判断が左右されていましたが、今年度は、安定した環境の中で計画通りに学習を実施できるようになりました。

学校から民間施設まで、子どもたちはバスで移動します。乗車時間は10分間程度で済むため、大きな負担がかかることはありません。回数を重ねるごとに移動に慣れ、学習活動の時間を十分に確保できるようになりました。

第三小学校の教員が指導しますが、民間施設のインストラクターが水泳の指導補助として加わるため、子どもたちの泳力に応じた指導コースを設定することができます。一人ひとりの課題に適したきめ細かな指導を行っています。

適度な水温と室温のプールの環境で、子どもたちは一生懸命学習に取り組み、泳力が伸びてきたことを実感することができました。



問合せ

- ◆事業内容について…教育総務課 ☎ (042) 574-4040
- ◆指導内容について…学校指導課 ☎ (042) 573-4372